**憲法第９条を壊す「戦争法案」の廃案を求めるアピール**

今年は、日本が引き起こしたアジア・太平洋戦争の敗戦から７０年、広島と長崎に米国が原爆を投下して７０年、の節目の年です。

この侵略戦争によって、アジア諸国で２０００万人、日本国内でも３１０万人の尊い命が犠牲となりました。その反省から生まれた日本国憲法は、前文で「政府の行為によって再び戦争の惨禍が起こることのないようにすることを決意し」、第９条で「国権の発動たる戦争と武力の行使は永久に放棄」し、「陸海空軍その他の戦力は、これを保持しない。国の交戦権は、これを認めない」としています。その後、自衛隊が発足しましたが、「集団的自衛権行使は憲法第９条のもとでは認められない」というのが、これまでの政府の一貫した姿勢でした。

ところが、安倍政権は昨年７月、憲法第９条を改定することなく解釈を変え、「集団的自衛権を行使できる」という閣議決定を行い、今年の５月にはアメリカ軍などの「後方支援」のために自衛隊が出動できる「国際平和支援法案」と、自衛隊法や周辺事態法など１０法案を一括して改正する「平和安全法制整備法案」を国会に提出しました。

これらの法案は、名前に「平和」を入れていますが、これまで憲法第９条に違反するとしてできなかった自衛隊の海外派兵がいつでもどこでも切れ目なくできることになっています。後方支援とは兵站作戦そのものであり、相手国への敵対行動です。派兵された自衛隊が戦闘で「殺し、殺される」のはもちろん、日本の国そのものが攻撃対象となる危険性が高まります。集団的自衛権を行使するかどうかの判断基準は極めて曖昧であり、その時々の政府の判断に任されることになれば、政府の恣意的な自衛隊の出動、派兵が行われることになりかねません。だからこそこれらの法案は「戦争法案」なのです。

いま安倍政権がやろうとしていることは、憲法が定めた手続きを無視して第９条を破壊する「改憲クーデター」です。それは、憲法は為政者を縛るものであるという立憲主義を真っ向から否定した行為です。

秘密保護法のもとでは、自衛隊の派兵などにかかわることは軍事や外交、テロ防止にとって重要な「特定秘密」とされ、主権者である国民が知らない間に他国との武力衝突や戦争の扉が開かれることになりかねません。

私たち被爆地広島に住む者は、世界中の争いが一つでもなくなることを願っています。法律制定によって憲法を壊す「戦争法案」成立に断固反対します。国民をないがしろにし、命を危険にさらす国づくりは絶対に許しません。みんなで声をあげましょう。「戦争法案」は必ず廃案にしましょう。

２０１５年６月

呼びかけ人（50音順）

アーサー・ビナード（詩人）　　　　　　　　 　秋葉忠利 （前広島市長）

安東善博 （元ジャーナリスト）　　　　　　　　　　今中　亘 （元ジャーナリスト）

大国和江 （弁護士、元日弁連副会長）　　　　　　 緒方桂子 （広島大学法科大学院教授）

木村　豊 （広島弁護士会会長）　　　　　　　　　　多幾山斯梵（浄土真宗本願寺派圓福寺前住職）

長谷　憲 （広島県保険医協会理事長）　　　　　　　二階堂和美（歌手、僧侶）

林　辰也 （広島ＹＭＣＡ名誉主事、生協　　　　　 平岡　敬 （元広島市長）

ひろしま顧問）　　　　　　　　　　　 舟橋喜恵（広島大名誉教授）

宗藤尚三 （日本基督教団牧師、日本宗教者平和　　 森滝春子（核兵器廃絶をめざすヒロシマの会共同

協議会常任理事）　　　　　　　　　　　　　　　　代表）

湯浅正恵　（広島市立大学教授）

７月12日午後２時、中央公園の「ストップ！戦争法　ヒロシマ集会・デモ」に集まりましょう。

主催　ストップ！戦争法7・12ヒロシマ集会実行委員会

**私は「アピール」に賛同します**

アピールの賛同者を1万人募ります。  
　ホームページ（「ストップ！戦争法7・12ヒロシマ集会」実行委員会で検索してください）にお名前を掲載させていただきます。肩書は「看護師」「学生」「公務員」などのほか「広島市民」「＊児の母」「イチ親父」など自由に。公開ＯＫの方は○をつけて下さい。

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| お名前 | 肩書 | 公開 | お名前 | 肩書 | 公開 |
|  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |

**ストップ ! 戦争法　7･12ヒロシマ集会・デモにご参加を！**

日時　　7月12日（日）午後２時～集会。集会後、デモに出発

場所　　中央公園東側広場（広島市中区基町）

主催　　ストップ!戦争法７・12ヒロシマ集会実行委員会

○実行委員会の主な構成団体

戦争をさせないヒロシマ1000人委員会

広島市西区横川新町7‐22　☎082-503-5855

広島県9条の会ネットワーク

広島市中区八丁堀4‐25‐5　石口俊一法律事務所内　☎082-222-0072

秘密法廃止！広島ネットワーク

広島市中区十日市町1－5－5日本ジャーナリスト会議広島支部内　☎082-231-3005

◎署名の送り先　 ファクス　　　　　 082－231-3005

Eメール　　　　　 [hiro9@opal.plala.or.jp](mailto:hiro9@opal.plala.or.jp)

　　　　　 ホームページ　 <http://sensoiken.jimdo.com/>

　　　　　　　　　 郵　送 ：　〒730-0805　広島市中区十日市町1－5－5　坪池ビル２Ｆ

　　　　　　　　 日本ジャーナリスト会議広島支部内

　　　　　　　 ストップ！戦争法 7・12ヒロシマ集会実行委員会

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　不明な点は　難波健治090-4650‐1208まで